

(仮称)福田バイパスの早期着工と国道202号の整備状況について

問 (仮称) 福田バイパス計画は、大浜町から福田本町間の通過車両を減少させることで国道202号の抜本的な安全確保を図れるとして、建設促進期成会等を中心に要望活動を行っているが、地元陳情を受けての対応について伺いたい。

答 県は国道202号の安全対策として、バスベイの設置など改善に向けた取り組みを進めているが、現段階で福田バイパスの新規事業化は財源面等から難しいとの見解である。本市としてはバイパス整備が必要と考え、今後の重点事業として引き続き地域の皆様方とともに県等に要望を行っていききたい。

健全な財政運営について

問 市の一般会計は、税収の減や扶助費の増加などで国の地方交付税への依存度が高いが、今後、同交付税の動向が不透明な中、健全で安定的な財政運営に向けた市の取り組みを伺いたい。

答 第4次行政改革大綱及び第2次財政構造改革プランに基づく取り組みを進めており、特に人件費や公債費の縮減に効果が現れている。平成23年度

からは新たに策定する計画に沿って健全な財政運営の確立に引き続き取り組んでいく。また、現在策定中の第4次総合計画の前期計画素案に掲げた方針に基づき、地域経済の活性化に資する施策に積極的に取り組み、自立的安定的な財政基盤の確立に努めたい。

自由民主党

新市立病院整備運営事業(PFI)の進捗状況について

問 新市立病院のPFI事業について、業者選定から事業終了まで公平性・公明性・透明性を守ることが原則であるが、事業者選定に対する住民監査請求に対し、資料不提出のため監査不能との結果がでているが、今後、事業をどのように進めていくのか。

答 業者選定にあたっては、国のPFI基本方針や市の基本指針に基づく総合評価一般競争入札を採用したことから、価格と提案内容を総合的に評価し決定した。監査資料については、審査会で予め非公開としたものは提出しなかったが、今後も、公平性、透明性、PFIの効率性、さらには公立病院の公共性を念頭に事業を進めていきたい。

水道施設統合整備事業について

問 市は水道施設統合整備事業により、外海地域の住民が誇りと愛着を持つ独自の水源と浄水場を全て廃止し、神浦ダムの水を三重浄水場から逆送させようと計画しており、納得できない。

答 外海地区の浄水場の大部分は老朽化により更新の時期を迎えており、また、水源は全て1,000m未満の小規模水源で、水量及び水質が天候に左右されやすい状況である。安全で安定した水の供給、施設管理体制の強化、並びに効率的な事業運営を図るため、合併協議会の承認を得て旧長崎市から配水管を延伸して行う水道施設統合整備事業を地域住民の理解を深めるよう努力しながら進めており、ご理解いただきたい。

四郎ヶ島台場跡の文化財化の進捗状況について

問 四郎ヶ島台場跡の文化財指定に向けた取り組みについて、昨年の11月からの進捗状況はどうか。

答 昨年度は主に崩壊している石垣部分を中心とした測量及び写真撮影調査を実施し、台場の一部について試掘調査を行ったが顕著な成果を得られる

ような遺構は発見できていない。

今年度は、史跡指定への資料として、昨年度の調査結果をもとに図面化と記録作成を行っている。また、文化財指定に向けた住民同意については、対象者説明会を開催し、協力を得ている。本市としては、文化庁の意向を踏まえたいうえで、来年中にも指定に向けた手続きを行いたい。

自治会活動の活性化について

問 自治会は市役所からの仕事で忙しく、デメリットばかりだという意見もある中で、目に見えるメリットがあれば、自治会に対する市民の気持ちも変わるかと思われる。自治会の研修のときには、市の施設については無料、又は半額の料金にできないか伺いたい。

答 現在、自治会が本市の施設を利用して集会や研修会などを開催する場合は、会場借上げ料の一部について減免している。自治会活動の一環として文化施設、観光施設等を利用する場合の減免については、関係部局と協議したい。

出島復元の進捗状況について

問 出島にオランダ商館が移転して37年にあたる来年は、出島にスポットを当てた長崎の情報発信や交流